

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	橋梁維持事業			
予算科目	8 款 2 項 4 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課:	土木管理課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	木曾 信之	担当責任者:	鍋田 豊樹

実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】 設定なし
事業の対象	利用者

事業の目的	市道に架かる橋梁について5年周期で点検を行い、長寿命化修繕計画に沿って維持修繕工事を実施し通行の安全を確保する。
事業の内容	市道に架かる橋梁について定期点検を実施し、老朽化したものについて架け替え、修繕を行う。
改善策の 具体的 取り組み (当初)	橋梁長寿命化修繕計画に沿って、国庫補助事業を活用し橋梁修繕設計を実施する。
改善策の 具体的 取り組み	なし。

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	892	21,500	4	21,289
	人件費	2,440	2,386	0	2,386
	合計	0	23,886	4	23,675
人件費 内訳	人工数	0.30	0.30	0.00	0.30
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	2,386	0	2,386
財源内訳	国庫支出金	0	11,730	0	11,730
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,332	12,156	4	11,945

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
旅費		9					
委託費		21,280	77,000	45,000	20,000	25,000	

成果指標				
成果指標	実施箇所÷予定箇所＝実施率			
指標設定の考え方	実施率を上げることにより通行の安全性を確保することができる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	道路法の改正により5年ごとの橋梁点検が義務付けられた。点検と補修工事を同時進行で行わなければならないため、国庫補助事業を活用し予算を確保する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	近接目視による定期点検、修繕計画、修繕工事を計画的に行い、安全な施設管理を行う。また、コスト削減と予算の平準化を考えて実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題